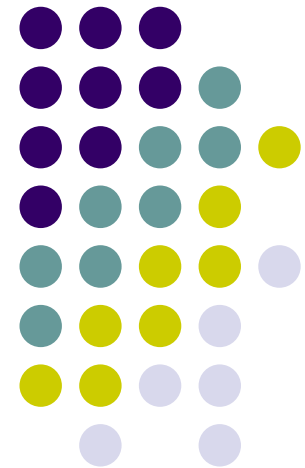


第 1 回訓練
(机上シミュレーション) について

2006年10月30日(月)
食品安全委員会事務局



実施スケジュール



年月日	区分	参加者	内容
H18.9.1	訓練準備事務局第1回会議	訓練事務局	訓練準備検討 シナリオ検討
H18.9.7	訓練準備事務局第2回会議	同上	同上
H18.9.15	机上シミュレーション・リハーサル	同上	リハーサル
H18.9.20	第1回訓練 机上シミュレーション開催	訓練参加者	オリエンテーション 机上シミュレーション 反省会
H18.10.2	総括会議	同上	机上シミュレーションの総括

訓練参加者

FSC: 食品安全委員会



区分	担当	人数
司会	(株)三菱総合研究所	2名
コントローラー	(情報付与全般)	2名
	(厚生労働省担当)	2名
	(農林水産省担当) FSC事務局員	2名
	(都道府県担当)	2名
	(その他)	5名
プレーヤー (FSC事務局)	総務課：課長、総括補佐 評価課：課長、評価調整官 情報・緊急時対応課：課長、総括補佐、緊急時対応担当補佐 勧告広報課：課長 リスクコミュニケーション官	9名
FSC幹部	局長、次長	2名
FSC委員	委員	5名
オブザーバー	緊急時対応専門調査会専門委員	7名
補助(記録)	(株)三菱総合研究所	3名

シミュレーション当日（9月20日） のスケジュール

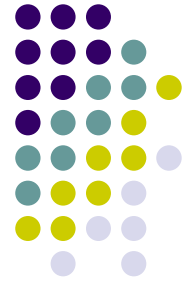


時間	テーマ	内容
13:30～14:00	オリエンテーション	訓練の進め方の説明
14:00～16:00	机上シミュレーション	訓練対象者（プレイヤー） が対応を協議・決定
16:00～16:30	反省会	訓練参加者からのコメント等

終了後、記者ブリーフィング実施

シミュレーションの目的と留意点

(オリエンテーションにて説明)



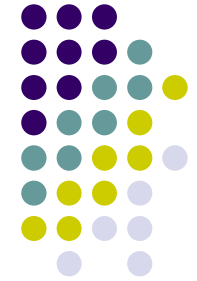
- 目的

- 食品安全委員会にとっての「緊急事態」のイメージを委員・事務局職員で共有化する。
- 本シミュレーションの準備も、職員にとっての良い訓練として位置づけている。

- 留意点

- 「失敗」が多いほど良い演習・訓練といえる（多くの課題を抽出）。
- 「頭の体操」、未知の事象について想像力を養うもの（パンデミック・Bテロ等で実績）。
- 最悪のシナリオを描き、そうならぬよう事態をコントロールする。
- 本日の事態・対応シナリオは、目的を絞った演習用でありその精度にはこだわらない。
- プレーヤーの対応の是非について評価を行うものではない（緊急事態のイメージを共有して、課題を抽出する）。
- 緊急時対応の手順確認は、次回の実動訓練に譲る。

机上シミュレーションの進め方



- 準備したシナリオを4フェーズに分割
- 各フェーズ毎にコントローラーが情報を付与
- 付与された情報をもとにプレイヤーが対応を協議
 - プレイヤーは必要に応じて、幹部、委員と協議
 - プレイヤーによる対応決定後に次のフェーズに移行